



2023年10月30日

各 位

上場会社 菊水ホールディングス株式会社  
 代表者 代表取締役社長 小林 一夫  
 (コード番号 6912)  
 問合せ責任者 常務取締役管理本部長 齋藤 士郎  
 (TEL 045-482-6912)

## 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2024年3月期通期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結業績予想につきましても、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異について

2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	5,450	640	640	450	53.78
実 績 値 ( B )	5,715	760	808	519	62.05
増 減 額 ( B - A )	265	120	168	69	
増 減 率 ( % )	4.9	18.8	26.3	15.5	
(参考) 前第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	5,434	631	696	466	55.96

#### 2. 通期連結業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	12,100	1,550	1,550	1,080	129.07
今 回 修 正 予 測 ( B )	12,370	1,680	1,720	1,150	137.32
増 減 額 ( B - A )	270	130	170	70	
増 減 率 ( % )	2.2	8.4	11.0	6.5	
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	12,066	1,531	1,528	1,072	128.36

### 3. 差異及び修正の理由

#### (1) 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異の理由

売上高は、中国における設備投資抑制や半導体メモリ等の世界的な需要減速の影響を受けたものの、好調に推移した受注環境の下、グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、新製品である双方向大容量直流電源PXBシリーズを中心に展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めたことにより、前回予想を上回る結果となりました。

損益面につきましても、売上高が増加したこと、並びに依然として原材料の長納期化や円安の影響はあるものの、納期対応のための部品調達コストや設備投資需要の変動に伴う海外製品の仕入が減少したこと、売上増加に伴い人件費等固定費の回収が進んだことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回予想を上回る結果となりました。

#### (2) 通期連結業績予想の修正の理由

第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異の理由を踏まえて、通期連結業績予想の修正を行うものであります。

足元の経済環境は、緩やかな回復基調が続いておりますが、中国経済の停滞、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源・エネルギー価格や原材料の高騰、更に円安による物価上昇に加え、世界的な金融の引き締めの影響など、依然として先行きは不透明なものとなっております。一方で、世界各国でのカーボンニュートラル、SDGs達成に向けた取り組み等により、自動車関連市場、電池関連市場などグローバルで需要の回復が進んでいることから、第3四半期以降も需要は堅調に推移する見通しであります。

このような状況を踏まえ、売上高は前回予想を上回る見込みであります。

損益面につきましても、売上高の増収により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を上回る見込みであります。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上